

科学技術連携施策群について

(1) 連携施策群とは

各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、総合科学技術会議が国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを定め、テーマごとの関連施策（以下、「府省施策」という）の不必要な重複を排除し連携を強化。これにより、相乗効果、融合効果が発揮され、全体としてより優れた成果を生み出すことを目的とする。

連携施策群ごとに、連携効果を高めるため、総合科学技術会議の下に連携推進ワーキンググループを設けるとともに、コーディネータを配置し、一体的に推進。

重複排除を徹底した上で、連携施策群の中で補完的に実施すべき研究開発課題については、総合科学技術会議のイニシアティブの下、必要に応じ科学技術振興調整費を活用。・・・別紙 1

(2) 連携施策群の 8 つのテーマ（平成 16 年 9 月 9 日総合科学技術会議決定）

- (1) ポストゲノム - 健康科学の推進 -
- (2) 新興・再興感染症
- (3) ユビキタスネットワーク - 電子タグ技術等の展開 -
- (4) 次世代ロボット - 共通プラットフォーム技術の確立 -
- (5) バイオマス利活用
- (6) 水素利用/燃料電池
- (7) ナノバイオテクノロジー
- (8) 地域科学技術クラスター　　・・・別紙 2

(3) 補完的に実施すべき研究開発課題（補完的課題）の実施

平成 17 年度から、科学技術振興調整費によるプログラム「科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進」を活用して開始。・・・別紙 3

本年 11 月を目途にこれまでの成果をとりまとめ、総合科学技術会議本会議に報告予定。

科学技術連携施策群の創設・推進

平成
16年

7月

平成17年度科学技術関係予算の改革について
(7月23日 本会議決定)

科学技術連携施策群を創設し積極的に推進

各府省の縦割りの施策に横串を通す観点
国家的・社会的に重要で関係府省が連携して推進すべきテーマ
関連施策の不必要な重複を排除し連携を強化

府省ヒアリング
外部専門家意見聴取

9月

科学技術連携施策群の創設・推進について
(9月9日 本会議決定)

8つの群を決定

ポストゲノム、 新興・再興感染症、 ユビキタスネットワーク、
次世代ロボット、 バイオマス利活用、 水素利用/燃料電池、
ナノバイオテクノロジー、 地域科学技術クラスター

優先順位付け、予算編成
の過程で府省ヒアリング
不必要な重複排除、
連携強化の点検

10月

各連携施策群に含める施策の決定 (10月21日 本会議報告)

推進体制の設計
・司令塔機能の発揮
・コーディネーター
支援体制
・振興調整費の活用
・関係府省調整 等

平成
17年

~5月

連携施策群の推進体制について公表 (5月24日)

専門委員の任命
(7月15日)

7月

本格的に調整活動を開始 (7月22日システム専門調査会、以降WGを順次開催)

8月~

- ・ 優先順位付け等 : 9月~10月
- ・ 補完的課題(振興調整費活用)決定 : 10月27日

科学技術連携施策群

〔各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを定め、科学技術連携施策群として積極的に推進（総合科学技術会議決定 平成16年7月23日）〕

〔目標、主な関係府省〕

**ポストゲノム
- 健康科学の
推進 -**

テラメド医療やゲノム創薬、予防医学などの確立を目指す
文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省

**新興・再興
感染症**

新興・再興感染症から国民の安心・安全を守る研究体制の確立を図る
内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省

**ユビキタス
ネットワーク
- 電子タグ技術
等の展開 -**

ユビキタスネットワーク社会実現の上で中核的な技術基盤の確立を図る
総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省

**次世代
ロボット
- 共通プラットフォーム
の確立 -**

次世代ロボットのさまざまな応用分野に共通のプラットフォーム技術の確立を図る
総務省、文部科学省、国土交通省、経済産業省、農林水産省

〔目標、主な関係府省〕

**バイオマス
利活用**

バイオマス利用、燃料転換等の技術開発により循環型社会形成を目指す
総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

**水素利用/
燃料電池**

水素エネルギー社会実現のため水素利用、燃料電池技術の確立を目指す
総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省

**ナノバイオ
テクノロジー**

ナノバイオの融合領域研究により健康寿命延伸等安心安全な社会を目指す
文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省

**地域科学技術
クラスター**

地域における革新技术・新産業創出を通じた地域経済の活性化を図る
内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

(別紙 3)

「補完的に実施すべき研究開発課題」の実施状況

(17年度) 8 テーマについて 11 課題募集、11 課題実施中

- (課題 1) ライフサイエンス分野のデータベースの統合化に関する調査研究
- (課題 2) ウイルス伝播に關与する野鳥の飛来ルートの調査とそれら野鳥における病原体調査及びデータベース構築
- (課題 3) 医療分野に於ける電子タグ利活用のための実証実験
- (課題 4 - 1) 環境の情報構造化プラットフォームの基本モデルの研究開発
- (課題 4 - 2) 蓄積と再利用可能なロボット用ソフトウェア基盤の確立
- (課題 5) バイオマス利活用事業に関する持続可能性評価手法の開発
- (課題 6 - 1) 地域等における水素利用システムに関する概念検討
- (課題 6 - 2) 需要家用水素計量システムに関する研究開発
- (課題 7 - 1) 分子イメージングによるナノドラッグ・デリバリー・システムの支援
- (課題 7 - 2) ナノバイオセンサ
- (課題 8) 地域視点に立った効果的な地域科学技術クラスター形成のための調査研究

(18年度) 6 テーマについて 8 課題募集、7 課題実施中

- (課題 1) 持続的植物生産のための生物間相互作用の解析研究
(採択課題はなし)
- (課題 2) 高度安全実験 (B S L - 4) 施設を必要とする新興感染症対策に関する調査研究
- (課題 3) ユビキタスネットワークの斬新な利活用研究・実証
- (課題 4 - 1) 室内外を移動する人にサービスを提供するための環境情報構造化プロジェクト
- (課題 4 - 2) 作業空間における物体操作のための環境情報構造化プロジェクト
- (課題 5) バイオマス利活用事業に関する持続可能性評価手法の開発
- (課題 6 - 1) 分子イメージングによるナノドラッグ・デリバリー・システムの支援
- (課題 6 - 2) ナノバイオセンサ